

再評価結果（平成28年度事業継続箇所）

担当課：環境安全課

担当課長名：菊地 春海

事業名	一般県道 府中 祇園線 <small>ふちゆうぎおん</small>	事業区分	地方道	事業主体	広島市
起終点	自：広島市東区中山南二丁目 <small>ひろしま ひろし なかやまみなみ</small>	至：広島市東区中山西二丁目 <small>ひろしま ひろし なかやまし</small>	延長	0.8km	
事業概要：広島高速道路 広島高速5号線（東部線Ⅰ期）の中山ICへのアクセス道路であり、広島高速5号線と一体となり、広島駅北口への定時性の確保及び速達性の向上など、アクセス機能の強化を担う路線である。また、JR芸備線との交差点（中山踏切）を立体交差にすることにより、中山踏切の慢性的な渋滞解消、及び安全で円滑な交通体系の確立を図るものである。					
H12年度事業化		H10年度都市計画決定		H26年度用地着手	
H27年度工事着手					
全体事業費	43億円	事業進捗率	12%	供用済延長	-km
計画交通量	8,000～12,400台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.1 (残事業) 3.4	総費用 (残事業)/(事業全体) 375/1,205億円 事業費：312/1,142億円 維持管理費：63/63億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 1,286/1,286億円 走行時間短縮便益：1,074/1,074億円 走行経費減少便益：155/155億円 交通事故減少便益：57/57億円	基準年： 平成25年	
感度分析の結果					
(残事業) 交通量：B/C= 3.5 (交通量 +10%) B/C= 3.3 (交通量 -10%)					
事業費：B/C= 3.2 (事業費 +10%) B/C= 3.7 (事業費 -10%)					
事業期間：B/C= 3.3 (事業期間+20%) B/C= 3.6 (事業期間-20%)					
事業の効果等					
<ul style="list-style-type: none"> 中山地区周辺から中山ICとのアクセス性の向上が図れる 踏切の立体交差化の整備により中山・温品地区における一般道路の円滑化が図れる 					
関係する地方公共団体等の意見					
<ul style="list-style-type: none"> 広島県から整備促進の要望がなされている。 					
事業評価監視委員会の意見					
<ul style="list-style-type: none"> 事業継続を妥当と認める。事業者は、引き続き地域の方々の理解と協力を得るために鋭意努力するとともに、事業効果の早期発現を目指すこと。 					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
<ul style="list-style-type: none"> H26年3月までに、高速2号線及び高速3号線の供用のほか、広島駅周辺で二葉の里土地区画整理事業等の開発が進められている。 					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
<ul style="list-style-type: none"> 用地進捗率 98%、事業進捗率 12% 					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、早期供用に向けて事業を進める。 					
施設の構造や工法の変更等					
<ul style="list-style-type: none"> 土木工事において、建設副産物の発生抑制や建設発生土の有効活用を図るなどのコスト削減を図っている。 					
対応方針					
事業継続					
対応方針決定の理由					
<ul style="list-style-type: none"> 以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。 					
事業概要図					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。